

①施策の目的等

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり
目的	中山間地域に今後も安心して住み続けることができるよう、県・市町村・県民の力を結集して「小さな拠点づくり」を進めます。

②成果参考指標の目標（実績）と施策の現状、及びその評価

数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	数値目標	年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
「小さな拠点づくり」を進めている公民館エリア数（累計）	目標値	59.0	77.0	102.0	126.0	150.0	エリア	機能・サービスの集約化に向けた実践活動を開始する公民館エリア数（累計）	目標値	0.0	13.0	26.0	38.0	50.0	エリア
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	59.0							実績値	0.0					
	達成率	100.0	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-	-	
地域資源を活かした特産品開発に積極的に取り組む事業者数	目標値	3.0	6.0	9.0	12.0	15.0	事業者		目標値						
	取組目標値								取組目標値						
	実績値	9.0							実績値						
	達成率	300.0	-	-	-	-			達成率	-	-	-	-		
定性目標	平成28年度～平成31年度														
成果参考指標の実績等の補足説明（任意記載）	<p>○「小さな拠点づくり」を進めている公民館エリア数について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26年度までに「過疎（中山間）地域自立促進事業」（※）を実施した地域の数・・52エリア ・H27年度に過疎（中山間）地域自立促進事業を実施した地域・・1エリア（美郷町君谷） ・第3期中山間地域活性化計画に基づく現場支援地区・・6エリア（安来市市佐、大田市北三瓶、知夫村、邑南町出羽、浜田市井野、隠岐の島町五箇）以上の整理で59エリアをカウントしている。 <p>※地域が主体となって行う地域課題解決のための取組を支援する事業。実施にあたっては地域において3カ年の計画を策定する必要がある。</p> <p>○特産品開発に取り組む事業者数については、コミュニティビジネス育成支援事業（島根もの・ことカレッジ）の取組により特産品が完成した、又は完成に向けた道筋が立った事業者を成果としてカウントしている。</p>														

③評価時点での施策目的に対する現状

評価時点で施策目的に対する現状（客観的事実・データなどに基づいた施策の現状や取組状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての市町村に対し「第4期中山間地域活性化計画」に基づく中山間地域対策の方向性と、推進体制について説明し、着実な対策の実行について協力を求めた。特に、「小さな拠点づくり」については、各市町村の対象地域の現状等について意見交換し、今後の進め方を確認した。 ・市町村の担当者、県の中山間地域対策プロジェクトチーム（PT）の関係者を対象に研修会を開催し、「小さな拠点づくり」を進める上で必要な知識とスキルの習得を図った。 ・「小さな拠点づくり」の対象地域のうち、住民の合意形成が進み、具体的な計画づくりや実践活動に取り組もうとする地域については、「現場支援地区」に指定し、県の担当者が支援を行っている。現場支援地区以外の地域についても、地域の組織や市町村の求めに応じて、住民の話し合いを促す取り組みを行っている。 ・「小さな拠点づくり」に向けた地域の取組のうち、コミュニティビジネスの創出を目指すものについては、コミュニティビジネス育成支援事業（通称：島根もの・ことカレッジ）により、地域資源を活かした商品開発に取り組む事業者等への支援を行っている
---	---

④今年度末の施策目的の達成度予測

28年度の施策目的の達成度予測	判断	その理由
A:達成できる B:概ね達成できる（見直す点がある） C:達成は困難	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「小さな拠点づくり」については、市町村向けの説明会や研修会等を通して市町村と県との一体的な推進体制の構築を図っており、理解が広がっている。今後、住民主体の話し合いを丁寧にし、一層の住民の機運醸成に取り組んでいく必要がある。 ・機能・サービスの集約化に向けた実践活動については、予算事業の活用等により取組みが広がりがつつある状況である。 ・地域資源を活かした特産品開発については、必要に応じ、民間専門家による指導や研修会の開催、また、コミュニティビジネス育成支援事業等による支援が必要である。

⑤課題の認識

(1)平成31年度末の施策目的の達成状況（予測） A:達成できる B:概ね達成できる C:達成は困難	判断	その理由（④の「判断」と異なる「判断」の場合のみ記載）
	B	
(2)施策の目的達成に向けての課題		<ul style="list-style-type: none"> ・住民間での話し合いの場づくりができていない地域における機運醸成を行っていく必要がある。 ・市町村の「小さな拠点づくり」への取組に向けた体制強化を進める必要がある。 ・地域リーダーの高齢化と後継者不足への対応を行う必要がある。

⑥今後の取組の方向性

課題解決に向けての今後の取組の方向性	<p>地域住民の理解を経て、住民主体の話し合いを促していくことは相応の時間と労力を要するが、地域の課題やその解決方法等について考える雰囲気づくりが着実に進展するよう、また、現場支援地区での先進的な取組が他地域に波及し、各地域での計画作りや実践活動が加速的に進展するよう市町村と連携して取り組む。</p> <p>具体的には以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動（社会教育）等と連携し、住民主体の話し合いを喚起し、地域課題や将来像を考える機会を設け、「小さな拠点づくり」に向けた芽生えを創出する。 ・県の交付金等を活用し、市町村の支援体制（市町村の担当職員の増員、地域の「要」となる人材の配置）の充実を図るよう促す。 ・県の組織（PT）をフル活用し、また、必要に応じて研修会等を開催するなど、地域の取組に対して直接支援する。
--------------------	---

施策評価シート別紙2(事務事業一覧)

施策の名称	施策Ⅱ-5-2 小さな拠点づくり				
-------	------------------	--	--	--	--

(単位:千円)

	事務事業名	目的(意図)	前年度 事業費	今年度 事業費	所管課名
1	中山間地域総合対策推進事業(「小さな拠点づくり」推進事業)	中山間地域が抱える様々な課題に対して対策を講じ、住民のみなさんが安心して住み続けることができるようにする。	105,911	185,049	しまね暮らし推進課
2	中山間地域対策総合調整事業	中山間地域対策関連事業の円滑な実施を図る。	5,008	5,949	しまね暮らし推進課
3	中山間地域研究センター事業	中山間地域における現状の把握と解決策を研究し、中山間地域の活性化の取り組みに役立ててもらおう。	42,194	58,021	しまね暮らし推進課
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					